

Assist home 住まいる通信

2021年
4月号

「発行」(有)アシストホーム

今年は桜の花が例年より早く咲き、お花見に出かけたかたも多かったのではないのでしょうか。満開時期がちょうどコロナの緊急事態宣言解除とも重なり大変心配しました。寒い季節から暖かい季節に変わり、外でお弁当をもってみんなでお花見がしたかったのですが…。

春になり暖かくなると人だけでなく動物や植物も活発に活動しはじめます。今回はこれからの時期に活動する「シロアリ」について特集致します。



4月下旬～5月は『シロアリの繁殖期!』です

【シロアリの種類】

シロアリの種類は約3,000種類。そのうち日本の住宅に被害を脅かすシロアリは3種類です。

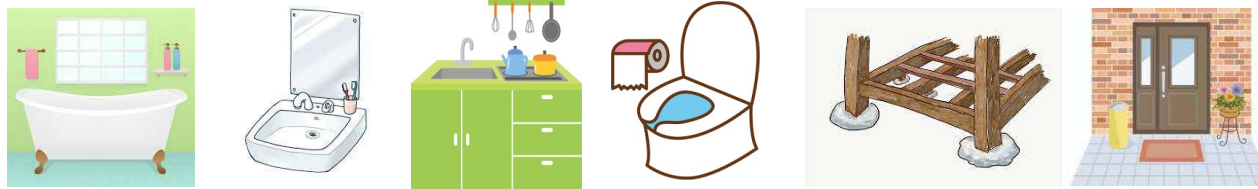
★ヤマトシロアリ(最も生息数が高い) ★イエシロアリ ★カンザイシロアリ

【シロアリの特徴】

- ・『ヤマトシロアリ』⇒4月下旬～5月に大量に発生し、一斉に飛び習性があります。乾燥に弱く、湿気がある所を好む。
- ・『イエシロアリ』⇒樹木にも巣を作ります。水を運ぶ習性があるため乾燥した所にも生息する
- ・『カンザイシロアリ』⇒湿った木は好まず、建物屋内の乾材を主に食べます。

【シロアリ被害の多い場所】

- ① 浴室 ② 洗面所 ③ 台所 ④ トイレ ⑤ 床下の土台や柱 ⑥ 玄関 etc.



・湿度が多く、比較的暖かく、日当り、風通しが悪い場所を好みます。

【シロアリ被害をそのままにしていると!】

★シロアリは一旦巣を作ってしまうと爆発的に大量発生します!!

- ・木造住宅の土台、柱、壁、天井をボロボロにしてしまいます。
- ・鉄筋コンクリート造りの建物でもひび割れした壁から侵入し、床や畳を食べてしまいます。

そのままにしておくと、最悪な場合地震によって家が倒壊する危険性もあります。早いめに対策をすることで、費用も抑えられ、安心して生活することが出来ます。定期的に、お家のシロアリ点検をすることをおススメします。



【シロアリが居そうな場所をチェックしましょう】

- ① 家の中の環境を確認
 - ・住居にひび割れはないか
 - ・結露する箇所はないか
 - ・木造部分の痛みや腐敗はないか
- ② 家周りの環境を確認
 - ・住居の周りに木材を置いたままにしていないか
 - ・土の上にそのまま木材を置いていないか
 - ・切り株がないか
 - ・建材から空洞音がないか
 - ・草木が建物にくっついていないか
- ③ シロアリの疑いを確認
 - ・4月下旬から5月頃に羽ありを家の周りで見かけた
 - ・室内に木くずが落ちている
 - ・土台や柱などに蟻塚や蟻道を見つけた



シロアリから家を守るための 予防対策

- その1:「物理的バリア」…侵入経路をふさぐ
- その2:「忌避的バリア」…予防処理を行う

日本の気候は湿度も多い季節もあるため約50%の家屋がシロアリ被害に遭うとされています。新築時はシロアリ予防をしますが、永久的に薬が効くわけではありません。長く住むほどシロアリ予防をしておかないと、シロアリ被害の確率はどんどん高くなります。

【シロアリ防除対策】

- ・日頃から侵入経路となる隙間やひび割れのメンテナンスをしておきましょう
- ・シロアリの巣を作らせないために木材を外に置いたままにしない
- ・湿気が多い所はこまめに掃除をしましょう
- ・自分で判断することが不安な場合は、専門業者に見てもらい診断してもらいましょう



最近、飛込で突然ピンポンを鳴らして「お宅の屋根が剥がれていますよ」と言われましたとのお客様からご連絡を複数頂いております。実際にお邪魔して屋根の点検をしたところ、飛び込み業者が言ったような不具合は一切ありませんでした。何も不具合がないのに業者さんに言われ、高額で修理を依頼してしまったケースもあるようです。

★もしこのような業者さんが来られたら★

- ① 名刺をもらい会社に電話をしてみる
- ② 出入りしている業者に見てもらおうと言いつつ一旦断る
- ③ 不具合箇所を自分の目で納得いくまで確認する
- ④ 出入りの業者がいなければ町内業者に相談してみる



お問合せ等 お気軽にお電話ください アシストホーム 046-877-1127